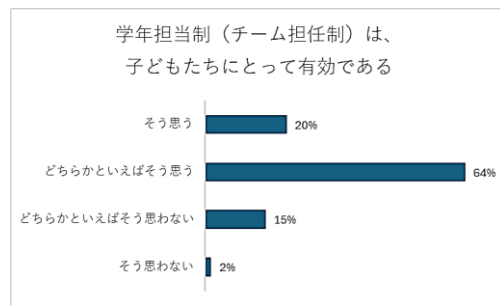
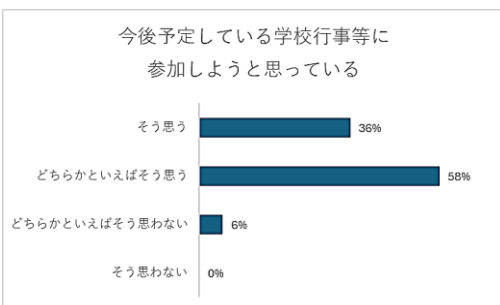
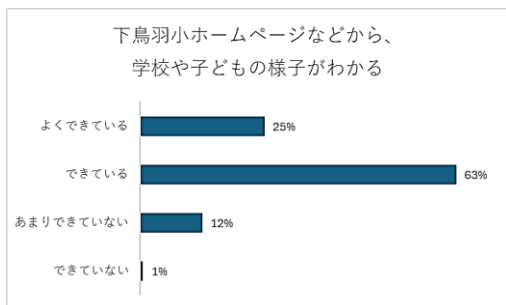
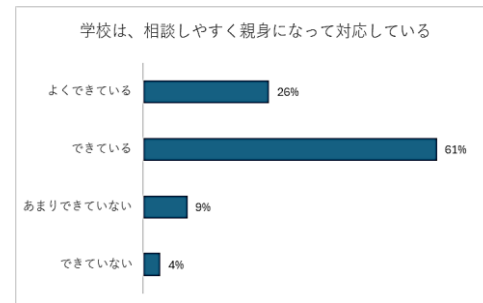
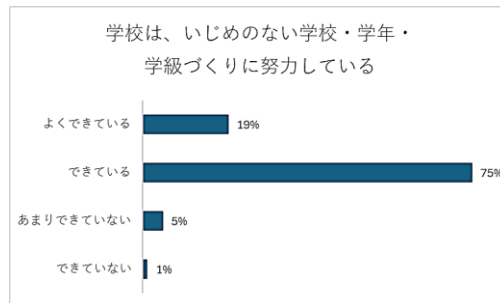
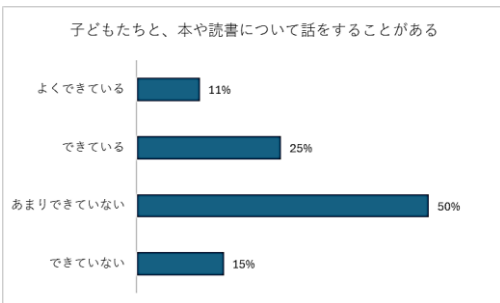
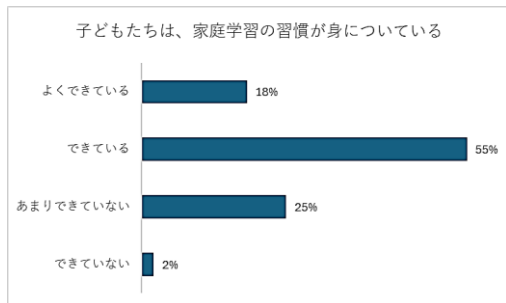
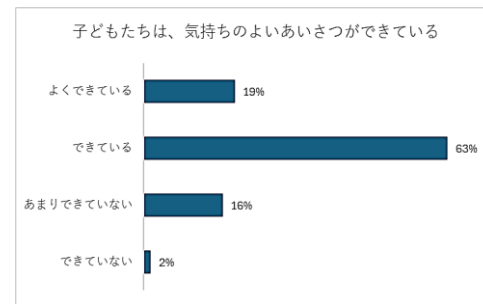
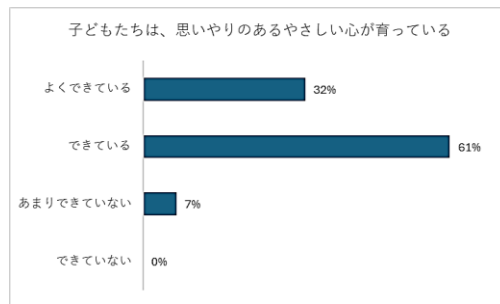
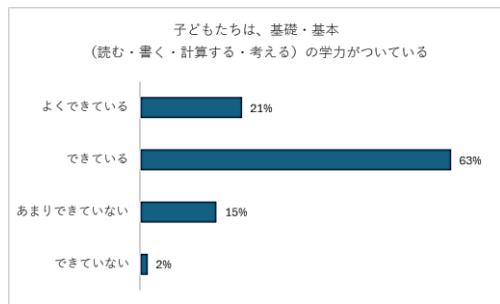
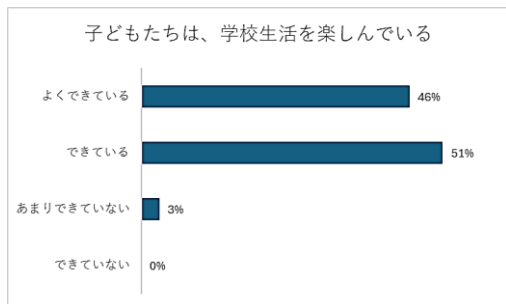


前期下鳥羽ツウエイアンケート結果(保護者)

このたびは、前期下鳥羽ツウエイアンケートにご協力いただき、誠にありがとうございました。195名の方からご回答をいただきました。

令和7年7月
京都市立下鳥羽小学校
校長 北村 晃



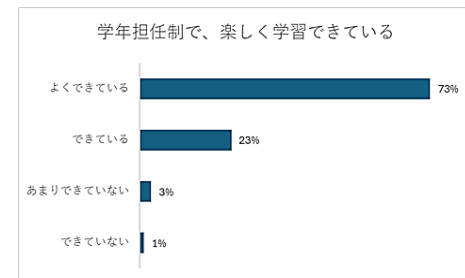
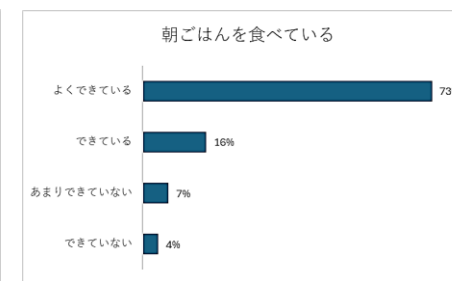
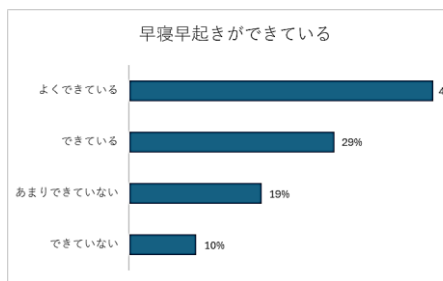
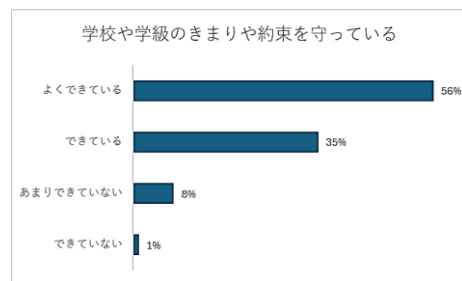
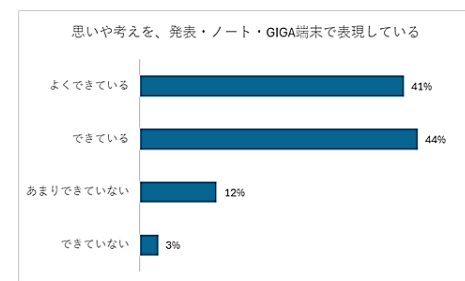
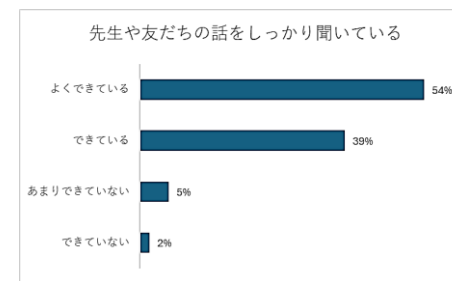
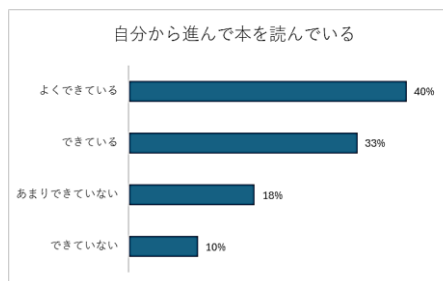
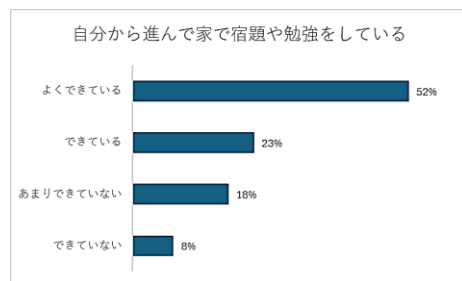
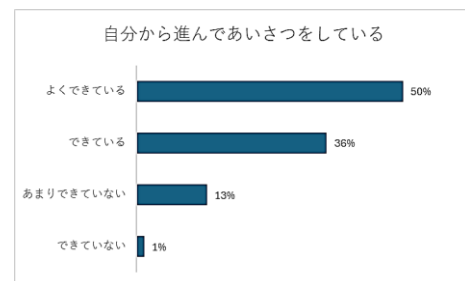
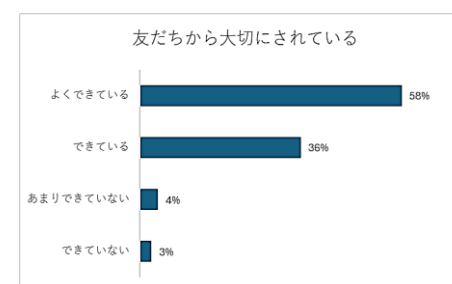
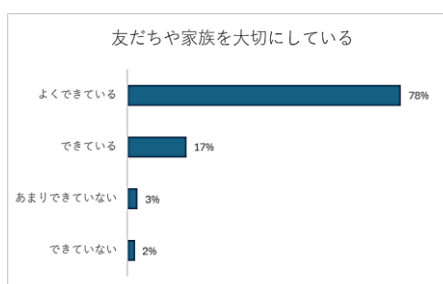
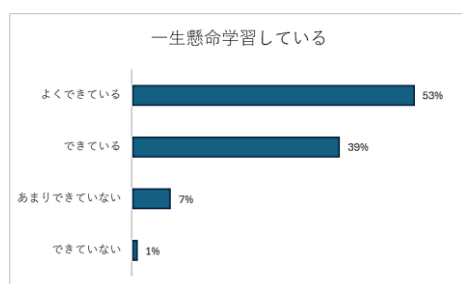
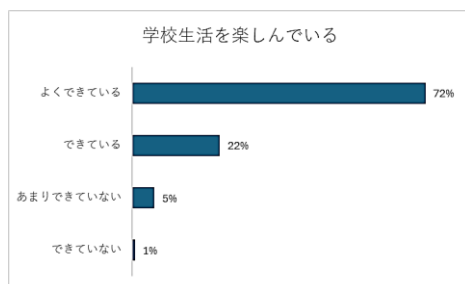
アンケートの結果から、子どもたちが「学校生活を楽しんでいる」と感じている保護者の方が多く、安心して通える環境と受け止めていただいていることがわかりました。また、「思いやりのある心が育っている」「いじめのない学校づくりへの努力」「相談しやすい雰囲気」「ホームページなどによる情報発信」「学校行事への参加意欲」など、多くの項目で肯定的な回答が8割を超えており、学校の取組が保護者の皆様にも評価されていることを大変うれしく思います。一方で、「家庭での読書に関する会話」については、「あまりできていない」「できていない」との回答が約6.5割にのぼり、課題が見られました。読書は、子どもの言葉の力や想像力、考える力を育む大切な活動です。学校では、読書週間の取り組みやおすすめの本の紹介などを通じて、子どもたちが本に親しむ機会を増やしていきたいと考えています。ご家庭でも、短い時間でも構いませんので、「この本、面白かったね」など、読書について話す時間を持ていただくと、子どもたちの読書への関心が高まります。また、「家庭学習の習慣」や「あいさつの定着」についても、肯定的な回答がやや低めでした。これらは日々の積み重ねが大切ですので、学校と家庭が協力しながら、子どもたちの生活習慣を育てていければと思います。

今回のアンケート結果を受けて、学校では今後も子どもたち一人ひとりが安心して学び、成長できる環境づくりに努めてまいります。保護者の皆様との連携を大切にしながら、よりよい学校づくりを進めていきたいと考えております。今後ともご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

前期下鳥羽ツウウェイアンケート結果(児童)



令和7年7月
京都市立下鳥羽小学校
校長 北村 晃



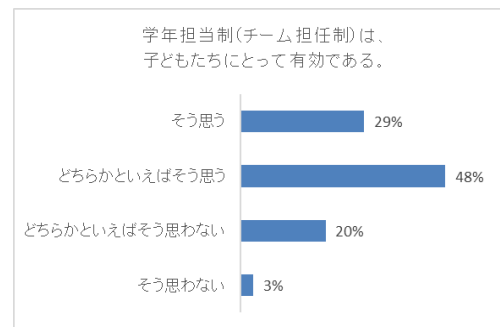
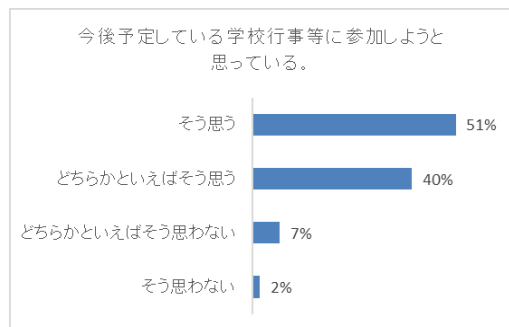
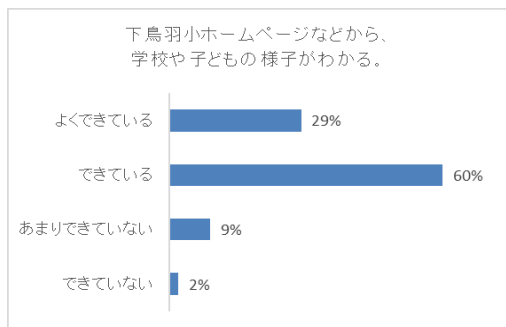
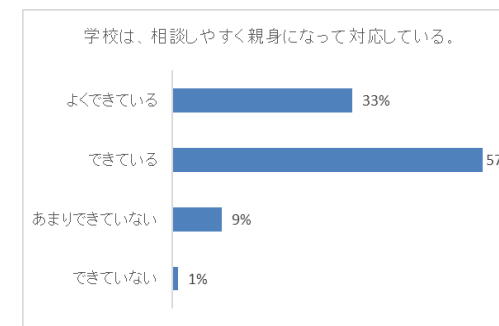
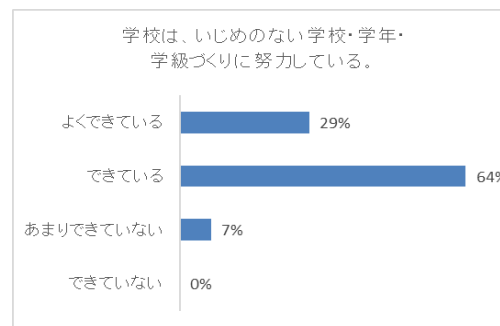
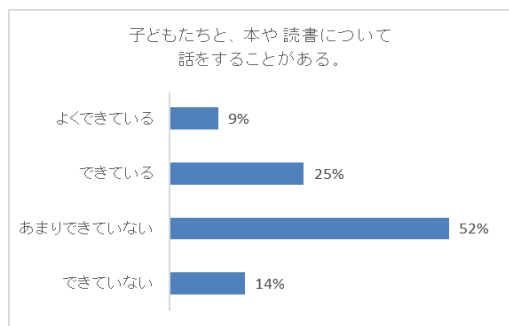
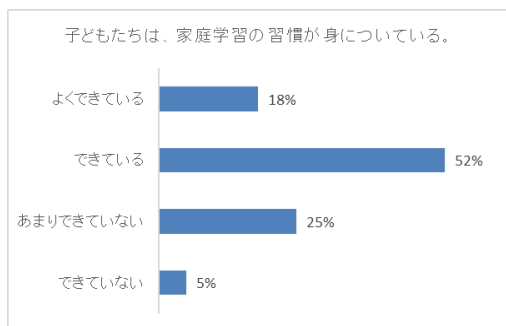
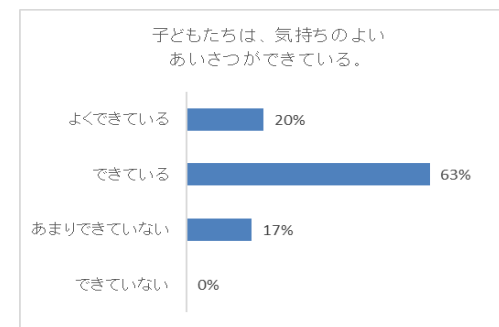
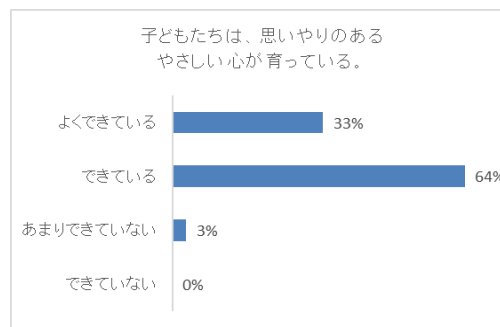
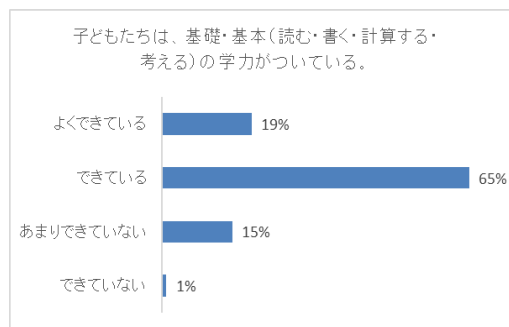
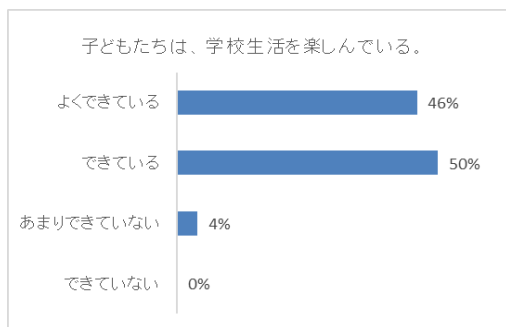
アンケートでは、「一生懸命学習している」「友だちや家族を大切にしている」「友だちから大切にされている」「自分から進んであいさつをしている」などの項目で、肯定的な回答が8割以上となり、多くの子どもたちが安心して学校生活を送っていることがうかがえました。これは、学年担任制をはじめとする学校の取組によって、子どもたち一人ひとりに目を向けながら、日々の関わりを大切にしている成果と受け止めております。一方で、「自分から進んで家で宿題や勉強をしている」「自分から進んで本を読んでいる」「早寝早起きができている」といった項目では、否定的な回答が2割を超えており、生活習慣や家庭学習、読書習慣に課題があることも見えてきました。

学校では、こうした課題に対して、朝の読書時間の工夫や生活リズムを意識した声かけ、学習意欲を高める活動などを通して、少しずつ改善を図ってまいります。ご家庭でも、「今日どんな勉強をしたの?」「最近読んだ本はどうだった?」など、日々の会話の中で子どもたちの関心を引き出していただくと、よりよい習慣づくりにつながると考えております。

後期下鳥羽ツウエイアンケート結果(保護者)

このたびは、後期下鳥羽ツウエイアンケートにご協力いただき、誠にありがとうございました。181名の方からご回答をいただきました。

令和8年2月
京都市立下鳥羽小学校
校長 北村 晃



後期アンケートへのご協力ありがとうございました。今回の結果では、「思いやりや優しさが育っている」「学校が相談しやすい」といった項目で、前期よりもやや多くの肯定的な声をいただきました。子どもたちの姿や、教職員の日々のかかわりを丁寧に受け止めていただいていることに、たいへん励まされております。また、学校や子どもの様子が分かるという回答も前期より増え、情報発信がご家庭とのつながりに役立っていることが分かりました。

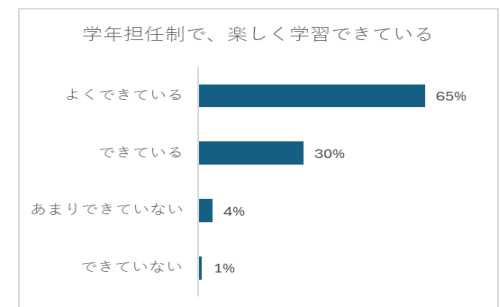
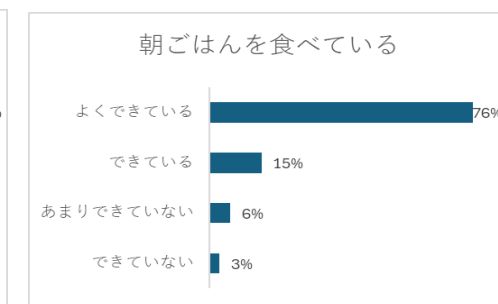
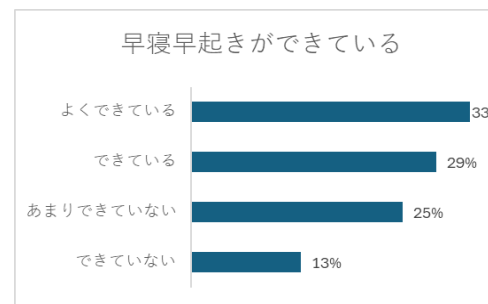
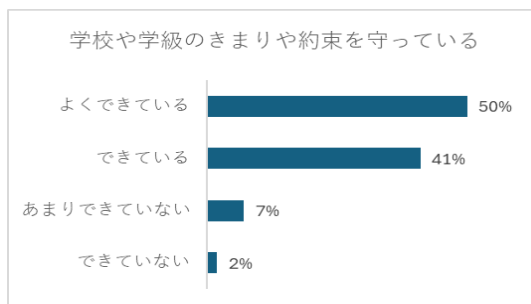
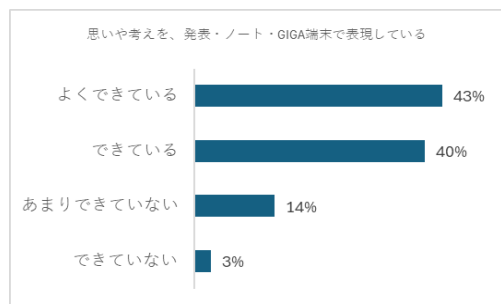
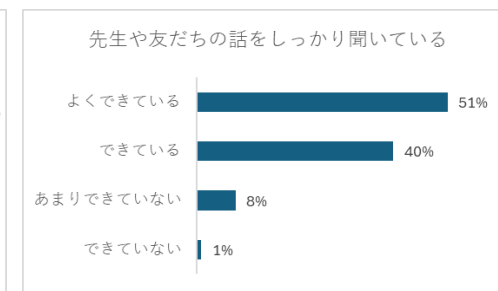
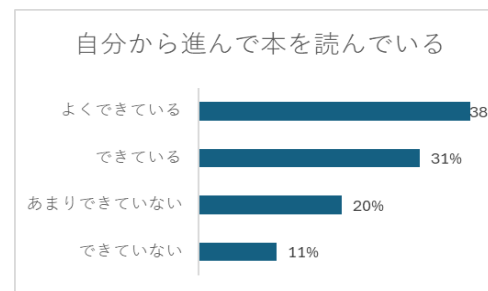
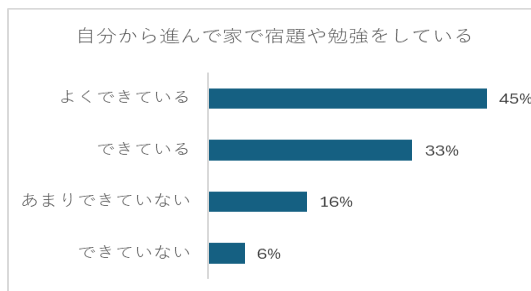
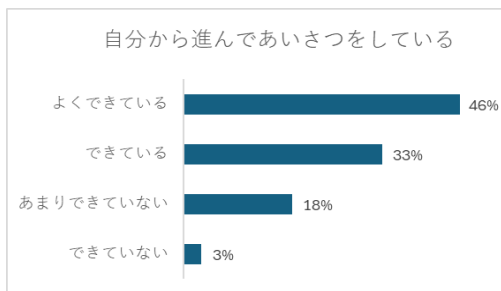
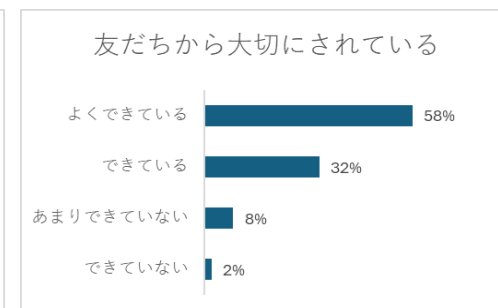
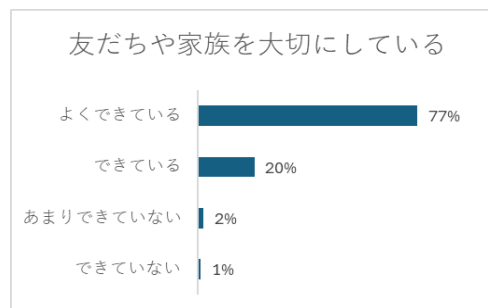
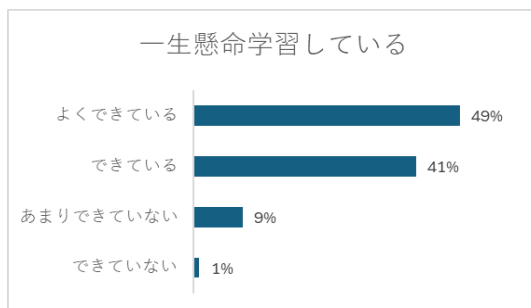
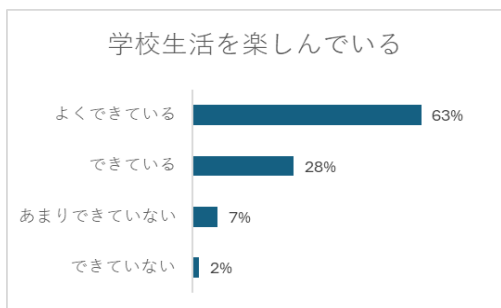
一方で、家庭学習の習慣づけや、読書について家庭で話題にする機会など、ご家庭と協力しながら伸ばしていきたい項目では課題も見られました。また、学校生活の楽しさや行事への参加意向、学年担当制については、より一層わかりやすく伝えていくことが必要だと感じています。

いただいたご意見は、子どもたちのよりよい成長を支える大切な声として、学校全体で共有し、教育活動の改善につなげてまいります。引き続き、温かいご支援をよろしくお願いたします。

後期下鳥羽ツウウェイアンケート結果(児童)



令和8年2月
京都市立下鳥羽小学校
校長 北村 晃



後期の児童アンケートでは、「自分から家で宿題や勉強をしている」が前期より高まり、主体的な学習への姿勢が見られました。あわせて「朝ごはんを食べている」「友だちや家族を大切にしている」も前期を上回り、日々の生活面や人間関係の面での前向きな変化がうかがえます。一方で、「早寝早起き」「自分から進んであいさつ」は前期より下がり、生活リズムや基本的な生活習慣に課題が残りました。「学校生活を楽しんでいる」「本を読む」「友だちから大切にされている」「話をしっかり聞いている」などもわずかに低下しており、年度末に向けて学級の雰囲気づくりや読書の機会づくりをより丁寧に進めていく必要があります。その一方で、「学校や学級のきまりを守っている」は前期と同水準を維持しました。

引き続き、学習習慣の定着と生活リズムの改善、挨拶・読書の機会づくりに取り組み、子どもたちが毎日いきいきと過ごせるよう、学校とご家庭で協力して進めてまいります。